

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		4. 協働の推進						
実施項目	A.地域の課題を地域で解決							
	地域の課題を行政単独で解決するのではなく、地域の人々と行政がそれぞれの特性を活かしながるともに解決することの醸成をはかる。							
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額 集計 (万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
行政と地域の役割 (特性)の整理	行政内には、「地域自治によるまちづくり推進本部」の設置						-	まちづくり課
	地域自治によるまちづくり「モデル事業」の実施						-	まちづくり課
	住民による、「住民会議」の設置						-	まちづくり課
22年度変更								まちづくり課
変更理由								
数値目標 (H26年度末)	平成22年度で各部1事業をモデル的に実施し、後年度はさらに拡大を進めていく。							
重視する指標	モデル事業の数							
改革のポイント (効果)	モデル事業をどこまで展開できるか。							

取り組み内容 (PLAN)			
行政内には、「地域自治によるまちづくり推進本部」の設置・地域自治によるまちづくり「モデル事業」の実施・住民による、「住民会議」の設置			
実施状況・効果・評価 (DO・CHECK)			
実施状況	「地域自治推進本部会議」及びその下部組織として「地域自治連絡調整会議」を設置した。また、モデル事業を各部で1事業ずつ抽出した。「住民会議」については、平成23年4月に設置できるよう調整中。		
効果	地域自治によるまちづくりの考え方が少しずつではあるが、職員の間浸透してきている。		
効果額	**,***千円		
算出根拠 (式等)			
課題と今後の対策			
内部評価 (担当課)	スケジュールの進捗度	95 %	
	指標に対する達成度	100 %	
	総合評価 (内部) ABCDE	C	当初の計画通りすみ今後効果が期待できる
外部評価 (推進委員)	モデル事業の抽出や住民会議を設置されたことに関して評価し、今後更なる推進を期待する。		
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善 (ACTION)			
22年度の取り組みを踏まえ、計画どおりに進めます。			

取り組み内容 (PLAN)	
平成23年度	モデル事業の実績を踏まえ、先進的に役場内部の「モデル」として活用できるようにする必要がある。
	住民会議の設置及び開催

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		4. 協働の推進						
実施項目		B.地域リーダー育成 地域リーダー育成のプログラムを作成し、実施する。(先進地視察や、研修会等)						
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額 集計 (万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
地域リーダー育成プログラムの作成	住民学習会の開催による学習内容の検討						-	まちづくり課
22年度変更	現在実施している情報交換会の中で、住民が学習できる機会を設けていく。							
変更理由	住民にとっては、「情報交換会」と「住民学習会」という2つの会が開催されても混乱が生じるだけだとの指摘をうけたため。							
プログラムによる先進地視察や研修会の実施	住民学習会による先進地視察、講師招聘						-	まちづくり課
22年度変更	現在実施している情報交換会の中で、住民が学習できる機会を設けていく。							
変更理由	住民にとっては、「情報交換会」と「住民学習会」という2つの会が開催されても混乱が生じるだけだとの指摘をうけたため。							
数値目標 (H26年度末)								
重視する指標	参加人数							
改革のポイント (効果)	地域リーダーの意識向上							

平成22年度	取り組み内容 (PLAN)		
	住民学習会の開催による学習内容の検討		
	住民学習会による先進地視察、講師招聘		
	実施状況・効果・評価 (DO・CHECK)		
	実施状況	<p>情報交換会の運営委員会を設置し、先進地事例などについて検討。情報交換会を地域づくり活動をされている方の意見交換の場として開催し、一つのイベントを複数の団体で実施しようとする動きも生まれ、住民同士の連携が図られつつある。3回開催。参加人数はいずれも約40人。</p> <p>平成23年3月6日開催の情報交換会の中で、先進事例紹介として環境問題を通じてまちづくりに取り組んでいるNPO法人の理事長をお招きし、講演会を開催。</p>	
	効果	地域づくり活動をされている方の意見交換の場として開催し、一つのイベントを複数の団体で実施しようとする動きも生まれ、住民同士の連携が図られつつある。	
	効果額	**,***千円	
	算出根拠 (式等)		
	課題と今後の対策	参加者数の向上	
	内部評価 (担当課)	スケジュールの進捗度	90 %
指標に対する達成度		80 %	
総合評価 (内部) ABCDE		B	当初の計画通りすすみ効果が出ている
外部評価 (推進委員)	情報交換会が開催され住民同士の連携が図られていることは良い傾向である。今後更なる住民参加を促進し、地域の活動に対して行政としてバックアップをしていくよう期待する。		
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善 (ACTION)			
住民と行政がさらに連携して、まちづくりを進められるよう、計画どおり進めます。			

平成23年度	取り組み内容 (PLAN)		
	住民学習会を引き続き開催する。運営委員を中心に、住民主導の運営をめざす。		
平成22年度と同じく、定期的に町外の情報として先進事例を行政と住民が共有することができる情報交換会を継続して開催する。			

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		4. 協働の推進						
実施項目		C.情報の共有						
実施項目		町内の各地域づくり団体の相互的な情報交換や地域づくり団体が実施するイベントの情報提供を実施する。						
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額 集計 (万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
まちづくりに対する共感度の向上	行政情報共有化と住民参画の推進を図る						-	総務課
22年度変更								
変更理由								
	地域づくり情報交換会の実施検討						-	まちづくり課
22年度変更	4 - Bで記述							
変更理由	情報交換会の中で情報共有をおこなうため							
数値目標 (H26年度末)	100%							
重視する指標	情報提供指針の浸透率							
改革のポイント (効果)	庁内向けの情報提供指針の策定と活用に向けた推進を行う。 広報・テレビ・ホームページ・チラシ・パンフなどの媒体の特性を活かした情報提供を行い、透明性の高い町政と住民との情報の共有化を図る。							

平成 22 年度	取り組み内容(PLAN)			
	行政情報共有化と住民参画の推進を図る			
	地域づくり情報交換会の実施検討			
	実施状況・効果・評価(DO・CHECK)			
	実施状況	指針の作成に至らなかった。		
	効果	実施していないので効果なし。		
	効果額	**,***千円		
	算出根拠 (式等)			
	課題と今後の対策	行政情報の共有をめざした検討を図る		
	内部評価 (担当課)	スケジュールの進捗度	0	%
指標に対する達成度		0	%	
総合評価(内部) ABCDE		E		当初の計画通りすすんでおらず、効果も出ていない
外部評価 (推進委員)	「豊かな人と財政のまちづくり」を進める中で、行政情報共有化・住民参画が柱となるよう推進することを期待する。			
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善(ACTION)				
住民の町政への参画や参加を促進し、住民参加型(協働)の行政運営を推進するため「行政情報の共有」の必要性を考慮したうえで指針の作成を行う。				

平成 23 年度	取り組み内容(PLAN)			
	指針を作成し、行政情報共有化と住民参画の推進を図る。			